

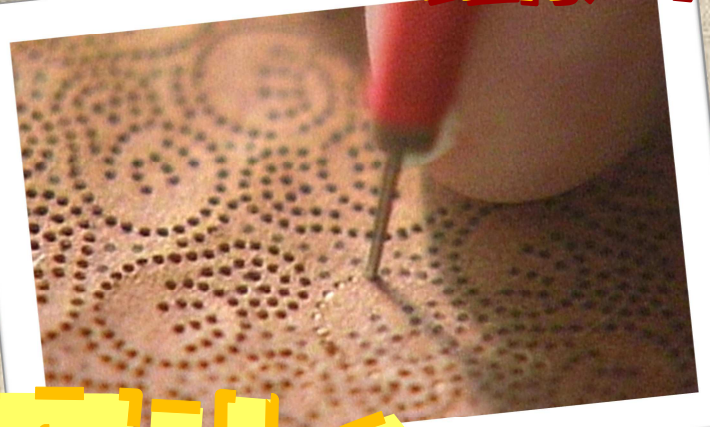
縞彫り



定規と彫刻刃で均等の縞柄を彫ります。1本の縞を彫るのに同じ場所を三度続けて小刃でなぞるため、極めて正確な技術が必要です。

5~8枚の型地紙を穴板という台に置いて、刃先が1ミリ~2ミリの小刃で、垂直に突くようにして前に彫り進みます。これには補強のために紗張りをすることもあります。

錐彫り



伊勢型紙

伊勢型紙とは着物の生地に柄や文様を染める為に使用される染色用型紙です。



道具彫り

刃自体が、花・扇・菱などの形に造られた彫刻刃を使って色々な文様を彫り抜きます。この技法は道具造りから始まり、道具の出来栄が作品を大きく左右します。

小紋を彫る技法では、絞小紋、行儀、通し、アラシなどの種類があります。刃先が半円形の彫刻刃を型地紙に垂直に立て、錐を回転させながら小さな孔を彫っていきます。

突彫り

